

科目名称：京都大学公開森林実習Ⅰ-近畿地方の奥山・里山の森林とその特徴-

単位数：1単位

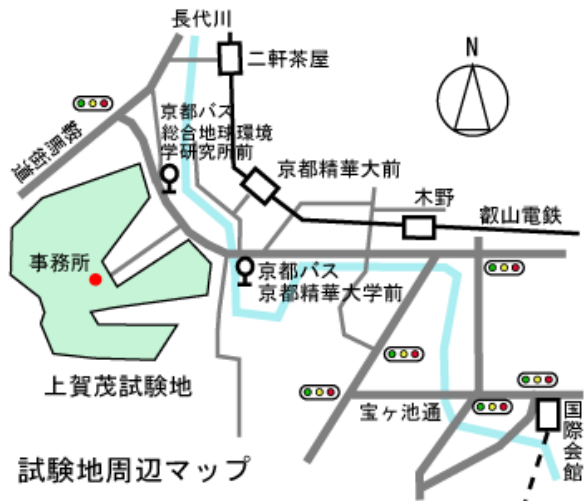
担当教員：徳地直子・石原正恵・坂野上なお・松岡俊将・張曼青

実施時期：2025年9月3日(水)～9月5日(金)

集合時刻：2025年9月3日(水)12:30(予定)

集合場所：京都大学フィールド科学教育研究センター上賀茂試験地

アクセス方法：



○JR「京都駅」から、地下鉄烏丸線で国際会館下車。京都バス40系統京都産業大学行きまたは50系統市原行きで、「京都精華大前」または「地球研前」で下車。徒歩10分。

○叡山電鉄「出町柳駅」から、鞍馬（二軒茶屋、市原）行きで、「京都精華大前駅」で下車。徒歩10分。

実施場所：京都大学フィールド科学教育研究センター

芦生研究林、上賀茂試験地および北白川試験地ほか

芦生研究林：〒601-0703 京都府南丹市美山町芦生

Tel.:0771-77-0321 Fax:0771-77-0323、<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/ashiu/>

E-mail: ashiu.cans@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

上賀茂試験地：〒603-8047 京都市北区上賀茂本山2

Tel:075-781-2404 Fax:075-723-1262、<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/kami/>

E-mail: fserc-kamigamo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

北白川試験地：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

Tel:075-753-6457 Fax:075-753-2264、<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/sira/>

E-mail: fserc-kitashirakawa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

対象学生：他大学の全学部、主として2・3年次生対象。京都大学の学生はILASセミナー「京都の文化を支える森林—地域の知恵と生態学的知見」を履修すること。

定員：10名（応募先着順）

到達目標：京都における森林の歴史や現在の状況（ナラ枯れ・マツ枯れ・シカによる食害）を学習し、森林をめぐる環境問題に対し、科学的な知識や研究手法を習得する。加えて、地域の人々や活動を体験し、人間社会と森林の関係について考察し、多面的な視野から対応策を考えられるようになる。

実習内容：京都には豊かな森林・水といった自然に支えられ、その資源の利用によって古より発展を遂げてきた。多くの文明が環境破壊と生態系サービスの劣化によって失われた事実とは対照的に、京都周辺には現在も多くの森林や溪流が残り、京都の文化を支えている。本科目では、京都市の里山や芦生の原生的な森林等で、森林と人間の関係を科学的に捉える研究手法を実習を通して学び、森林の利用に関する地域の歴史や人々の知恵を、猟師等の地域の多様な人と接するなかから学ぶ。そして、森林と人間社会との新しい関係を考える。

成績評価：講義、野外実習、レポート作成への積極性や知識の習得状況（レポート）により総合的に判断する。

実習日程：1日目 上賀茂試験地：京都市の里山

ガイダンス、森林と人間の関係について講義、上賀茂試験地の見学

芦生研究林へ移動・夕食

森と人との関わりについて猟師などの外部講師

2日目 芦生研究林の自然と調査

午前 樹木種の識別実習（講義室にて15分ほど）、原生的森林の観察、大規模シカ排除柵の見学

午後 班に分かれて芦生研究林内で調査を行う。班ごとのまとめ、ディスカッション。

3日目 かやぶきの里、木材市場などの見学、北白川試験地の見学、解散

参加費用：5,000円程度（食費及び宿泊費等）、集合・解散地と居所間の交通費は別途自己負担。

提出書類：自大学の教務（学務）担当者と相談の上、

下記の書類をE-mailまたは郵送にて提出すること。

下記、IとIIの受入身分の違いによって提出期限、提出書類と提出先が異なるので注意すること。

I. 農学部特別聴講学生となる場合：2025年6月9日（月）申込み締切

以下の書類を整えて、所属する学部の教務掛等から提出すること。

①学部長等の依頼書（別紙様式1）

②履修願（別紙様式2）

③学研災（[学生教育研究災害傷害保険](#)）と

学研賠（[学研災付帯賠償責任保険](#)）の加入を証明する文書のコピー

II. 農学部特別聴講学生とならない場合：2025年7月9日（水）申込み締切

以下の書類を希望学生自身が提出すること。ただし、指導教員、クラス担任等の承諾が必要。

①受講願（別紙様式3）

②学研災（[学生教育研究災害傷害保険](#)）と

学研賠（[学研災付帯賠償責任保険](#)）の加入を証明する文書のコピー

提出先：I, II 共通

京都大学フィールド科学教育研究センター 教育関係共同利用拠点事務局 宛
（封筒の表に「公開森林実習受講申込書在中」と朱書きすること。）

住所：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

TEL：075-753-6443、FAX：075-753-6443、E-mail：akh@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

詳しくは、実施計画書やHP（<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/akh/>）参照のこと。

保 険：学生教育研究災害保険および学研災付帯賠償責任保険に必ず加入すること。また、旅行保険に加入することを推奨する。なお、保険加入にあたっては家族等とよく相談すること。

キャンセル：定員があるため、受講を希望しても参加できない学生が出る可能性がある。このことを念頭に、直前にキャンセルすることのないよう日程等よく検討してから申し込むこと。

持ち物：保険証またはその写し、リュック、水筒（ペットボトルでも可）、長袖、長ズボン、帽子、傘、カップ（雨具）、防寒着、タオル、着替え、洗面具、常備薬、虫除け、メモと筆記具等。屋外での使用に適した靴（運動靴等）、ノートPC等を持参できる人はしてもよい。

※森林での調査は渡渉もありますので長靴でやります。長靴は貸し出します（自分の靴でやりたいという人は、それも可）。※カップ（雨具）は、数百円のビニルカップはすぐに破れるので、できる限り、上下が分かれたものを準備してください。※リンスインシャンプー、石鹸（ボディシャンプー）、洗濯洗剤も最低限の用意はあります。

注意事項：感染症対策として以下のお願いをしています

- ・流行状況に応じ、実習内容や募集人数、日程を変更する可能性があり、オンライン開催や中止になることもあります。
- ・インフルエンザ、麻しん、新型コロナウイルス感染症など
[学校保健安全法施行規則](#)の定める出席停止に該当する方は参加をお断りしています。
- ・当日の体調に異常（熱、せき、倦怠感・喉の痛み、味覚障害など）のある方の参加はお断りしています。
- ・宿泊は芦生研究林になります。数名の同性の学生との相部屋、風呂トイレ共用になります。感染予防は行いますが、リスクを完全に回避することはできないこと、実習中に発症した場合は医療へのアクセスが都市部と比べ困難であることをご理解のうえ受講を申し込みください。